

## 2020年度絵画科油画専攻学部入学試験 出題意図

本専攻の入学試験は思考力、観察力、表現力を重視し、面接試験を含めた総合的な評価により芸術家としての可能性を見出すものである。

### 第1次実技試験

(出題文)「三つの手」

素描では、絵画の基本的な表現力を判断する。対象物をよく観察し、固有の形態や質感、色彩を的確に描写したか、出題をどのように理解し、表現したかを問うた。

### 第2次実技試験

(出題文)「絵を描きなさい」

「絵を描きなさい」という出題、つまり何を描くか?は自由。おそらく沢山ある選択肢の中から自分で決めなければならない。それをどう描くか?どのように描くか?を問うものである。

林檎を描け!と言ったって誰もが直ぐに林檎だと判る林檎を描く者などほとんど居ないではないか。それに誰もが判る「林檎の絵」とは何か?

「私は林檎を描いた」と言うのは個人の自由だ。林檎をどう描いたか?もっと言えば「どう描こうとしているか?」を我々は見ると。そこには君たちが世界をどう捉えているか?どう捉えようとしているか?どう考えているか?どう模索しているか?が現れるからだ。我々は未完成でも小さい発芽でも見落とさないようにしたいと思っている。君たちを試験する我々も試されているはずだ。絵を描くとは、絵を見るとは解釈する事だ。画家の解釈の仕方が様々な描き方を生みだしてきた。

今2020年「絵をかきなさい」という出題をどう考えどう解釈するか?自分の頭で考える。追い詰められてしまった時こそ楽しく考えなければいけない。

「自分の頭で考え描きたい絵を描いて入学する」でなければこの時代に生き残れるはずがない。これが出題意図である。

### 面接試験

(設問3点列記の事)

- 1 第一次実技試験で描いた、あなたの作品について話して下さい。
- 2 美術の歴史の中であなたが一番興味を持っていることを教えて下さい。
- 3 「作品を鑑賞すること」について、どう考えますか?

以上の設問から自身の作品と制作をどのように考えるか、美術・絵画の歴史も含めた多様な表現について、どのように関わっていくか、あるいはその作品に含まれる意味をどのように感じ、どう解釈するかを問うた。